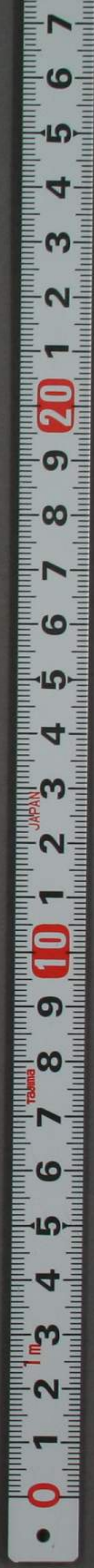




ル 3  
3368  
4





門 凡 3  
號 3368  
卷 4

和朝 石勝畫圖卷之四目錄



吉中龍

雄波江

鈴鹿冥

まの池

詩圖

尾山

詩圖

夏田池

詩圖



吉柳橋

詩圖

小橋の磯

詩圖

三懸系

か茂川

小倉山

矢洲川

早稲田 大學 図書館  
昭 27.3.5  
藏 書

ろし  
 ぬふ  
 深  
 け  
 泡  
 を  
 玉  
 丸  
 三  
 人



吉  
 野  
 の  
 大  
 龍  
 谷  
 紀  
 五  
 州



いれ  
散  
の柳  
橋



あまの  
き柳橋  
後人  
ゆ  
ま  
つ  
つ  
つ  
つ



難波の松林

前内大臣の御

難波の

りかり

小舟

ゆき

かき



ついでに

松林

ゆき

かき



相公看楓

楓林 暮春

白雲層

山色霜餘氣象

增 紅葉忽經

台覽後 滿廊

不掃夕陽僧

結さ白雲のたぐ  
層たかあよみまよ  
つもとては寺がわ  
るどむ相のらよ  
山をばさし山を  
も一入前よりんり



かとけみあは  
洞公ゆらんし  
らり げんく 威勢  
か出来てそ尋  
常のわきの極  
よハ思われぬを  
さりしむを廊  
下よあふみ  
系と柳示よ寺  
僧

ゆき  
は  
ま



報 松  
 花 此  
 花 此  
 花 此



松 園  
 松 園  
 松 園  
 松 園  
 松 園







こゆのさのり  
 小橋 磯 五段  
 橋へあつた  
 海風の吹  
 まさけい  
 小ゆきこれ  
 磯の  
 波ろよ  
 ふる  
 鳴り  
 まり



忠義兵 杜子川  
 白布長衫皂板條  
 腰間百箭臂雙刀  
 歸來酣飲咸陽市  
 換得殷紅錦戰袍  
 後 後  
 百戰功成凱陣中  
 金 金  
 咸陽の市行  
 酒と飲んぞまほ  
 漲す錦乃ち  
 且とほ乃ち  
 ううとほ  
 しとほ詩の忠臣と  
 君乃ちんか  
 いとほ



浣華醉歸 九淵

蕭々詩髮似秋蓬  
 無酒憂懷何以融  
 日暮歸時花杖路  
 海棠不入醉吟中  
 浣華 浣華  
 唐朝乱して國家  
 乃 乃  
 髮 髮  
 秋 秋  
 日暮 日暮  
 海棠 海棠  
 醉吟 醉吟  
 秋花錦乃 秋花錦乃  
 大分 大分  
 海棠 海棠  
 詩 詩  
 吟 吟  
 醉 醉  
 心 心  
 詩 詩



原  
し  
か  
す  
ん  
こ  
ら  
あ  
り



三勝原 山成  
午之巻  
あ  
ら  
は  
し  
ん  
ま  
り  
え  
ら  
の  
御  
座  
が





霜 吹 久 々 川 永



か 成 川 山 成  
前 江 多 野 乃 成  
山 道 乃  
神 乃  
月 乃  
小 乃  
文 乃  
し



題開聖寺波

宿雨初收草

木濃群鴉飛

散下堂鐘長

廊無事僧歸

院盡日門前

獨對松

のまハ一夜雨が降  
りて散く鴉くろ  
ど草木のまを  
るよ深みて青  
とん中々の景  
色よ開聖寺よ  
詣られんが故に



後梅寺乃のま  
ありたは八樹もよ  
寄りくふ鴉もど  
とらねのまをこ  
りて散するを傍  
りて食乃りり  
されど都院へ  
とらぬまをこ  
季涉八門をよ終  
日松を



あつちて  
こらと  
とゆらと  
とゆら  
ゆら

しんら 心 秋 くの 心  
く くら



小倉山 山  
化君之  
夕月夜  
小倉  
の  
山よ  
たぐ  
れ





水  
 草  
 花  
 鳥  
 遊  
 楽



待賢門院  
 沈田  
 初大  
 藝安



や  
川  
の  
名  
は  
伊  
勢  
の  
名  
所  
也

百代と

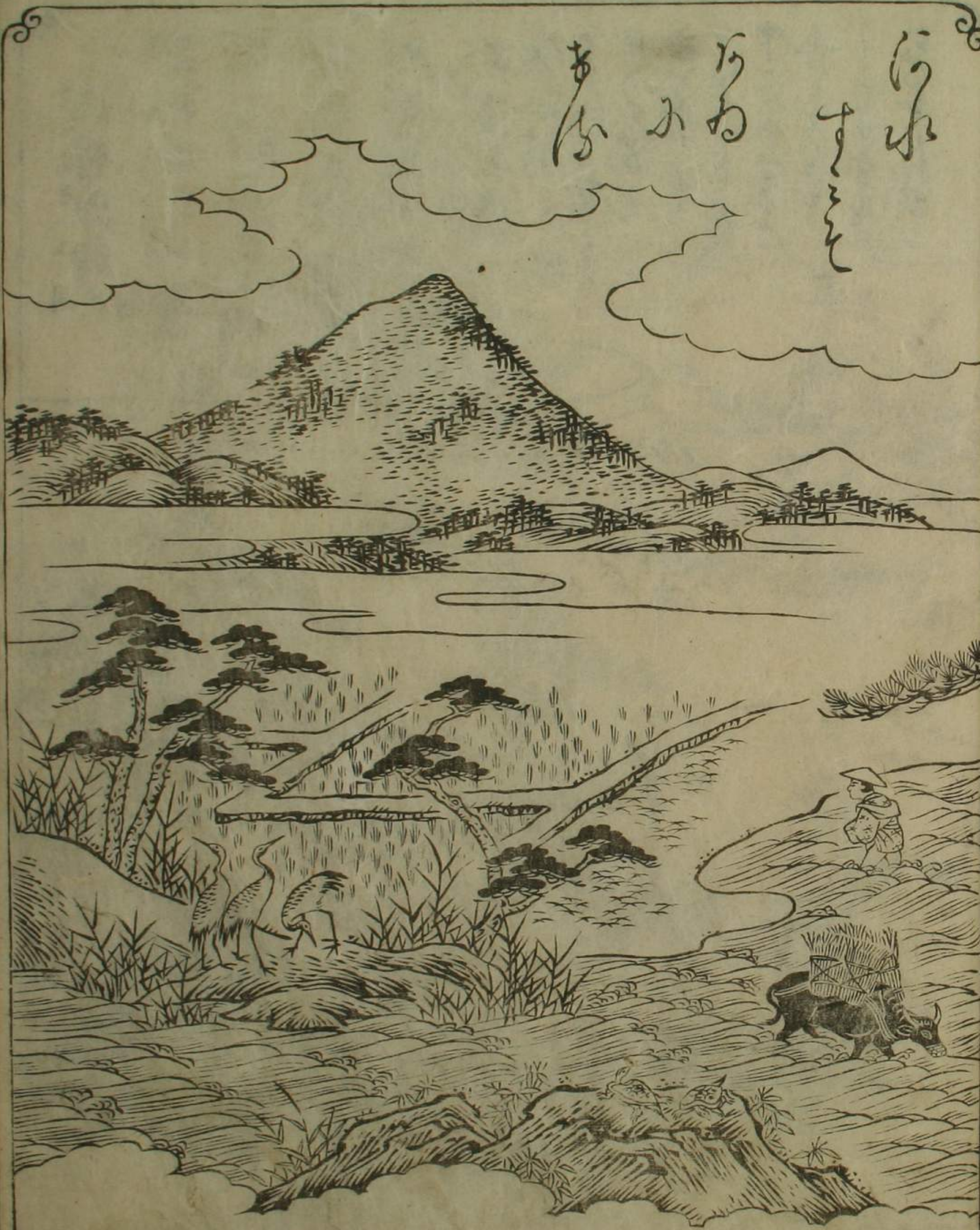
らとの

山丸

ひく

かぬ

久  
保  
の



河  
水

す  
そ

ら  
わ

か  
わ

も  
か



江村即時空

罷釣曙歸來不繫

舟江村月落正

堪眠ヤ縱然一夜

風吹去只在芦

花淺水邊

約ヨこイ育イりル泊

とソそれレて居るらう

月ツキ乃ノ入イ方ハ

泊ト止トて舟

中ナカに舟ありしと

舟フネとつれしと

ししてもなしと

公キミのとれんか

すすままらしみらう

かかののむむををととる

へへ吹吹ききととああままり

のの風風はは有有まま

ひひをを芦あし華はな法はふ

水みづ乃の處ところらう

外そとへへ吹吹きき

ままししとと知しるる

漁いし人ひと自みづか得ひ

乃の分わけ野の

りりららしし

運うん



鳥カモを畫エカイて鷲ホリ類レイ一ト虎トラと撰ウツて犬イヌ  
 子ニ虎ニの畫ビを觀ミるの書フデとそと圖エを本ホンとす  
 まあむの書ツウ長チヤウの行メイの畫シヨ凡クバ六シヨウ八ハチ冊ハチ  
 之レ入ビツ魂コンの毫カウ坊セイの畫シヤウ凡レ六シヤウ八シヤウ冊エラ  
 規キ矩キョウの書コノと魁サキの書ガク

都 昇仙亭鶴翁結

畫圖撰著承議郎金吾校尉漱石子

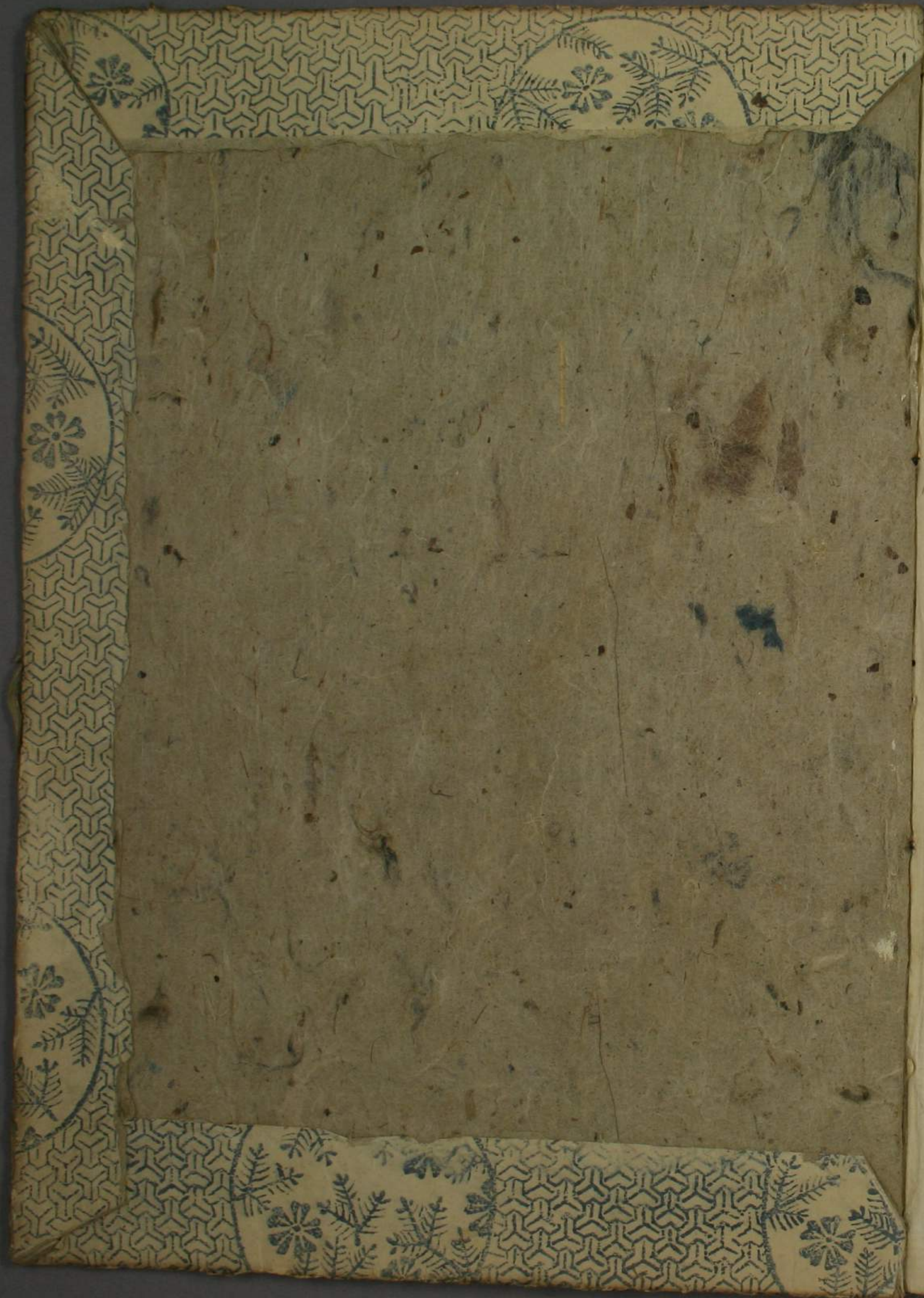
扶桑畫譜 前篇 後篇 全部十冊 橘有税子 守國畫圖 追々板行

- 和漢人物仙人 源氏繪 玄室 草木
- 禽獸 虫魚 名山 勝地 屏風
- 襖 津之 武者 詩歌 祝鳥

右悉此書有

享保第十七壬子稔青陽花朝日 彫工 丹羽平左衛門

- 京師書舗 堀川高辻上町 植村友之助 壽梓
- 東都書坊 通石町三町目 植村友之助
- 大坂書坊 高麗橋壹町目 植村友之助



Faint, illegible text or bleed-through from the reverse side of the page, appearing as light blue or greyish markings on the aged paper.

